

イマジカ・ロボット ホールディングス 個人投資家向け会社説明会

東証一部 証券コード：6879

2016年12月6日（火）/2016年12月16日（金）

Imagica Robot Holdings Inc.



目次

1.	グループ概要	P.2
2.	市場環境	P.8
3.	事業概要	P.10
4.	業績推移	P.26
5.	今後の事業展開	P.30
6.	参考資料	P.32



グループ概要



会社概要

2016年9月30日時点

会社名	株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス (東京証券取引所市場第一部 証券コード：6879)	
設立	1974年6月10日 (1935年2月18日：極東現像所として京都・太秦で創立)	
代表者	代表取締役会長 長瀬文男 / 代表取締役社長 塚田真人	
事業内容	映像に特化した事業グループ	
連結売上高	850億円 (2017年3月期見通し)	
従業員数	3,560名 ※臨時雇用者を除く	
グループ会社	連結子会社：58社 持分法適用関連会社：1社 非連結子会社：8社 持分法非適用関連会社：2社	
発行済み株式総数	44,531,567株 ※ 2016年9月30日時点	
主要株主と持株比率	株式会社クレアート 60.58 % 株式会社三井住友銀行 2.79 % 株式会社フジ・メディア・ホールディングス 1.90 % 三井住友信託銀行株式会社 1.15 % イマジカ・ロボット ホールディングス従業員持株会 1.13 % (2016年9月末時点)	

(注) 持株比率は発行済株式総数に対する所有株式数の割合



イマジカ・ロボットグループの沿革



1960年代：映画のカラー化、写真分野への進出

1970年代：テレビ分野への進出



京都 太秦で**極東現像所**として創業

1935

1942

1951

.....

1986

1992

1996

1997

商号を**東洋現像所**に変更

東京・五反田工場（現 IMAGICA 東京映像センター）操業開始

商号を**IMAGICA**に変更



映像機器開発の**フォトロン**に資本参加

フォトロンが株式店頭公開

放送事業開始
CS放送チャンネル「洋画★シネフィル・イマジカ」開局



Photron



イマジカ・ロボットグループの沿革



IMAGICA
DIGITALECAPE



アニメーション
制作大手のOLM
買収

映画・CM 企画制作の
ロボットと経営統合、
ホールディングス体制
に移行

人材派遣のイ
マジカデジタ
ルスケープを
買収

グループ組織再編に
よりJASDAQ上場

吹替え・字幕付けの
SDIメディア買収

.....

2006

2009

2011

2012

2014

2015

2016

(株)ロボット企画・制作した短編アニメ
『つみきのいえ』が米国アカデミー賞受賞

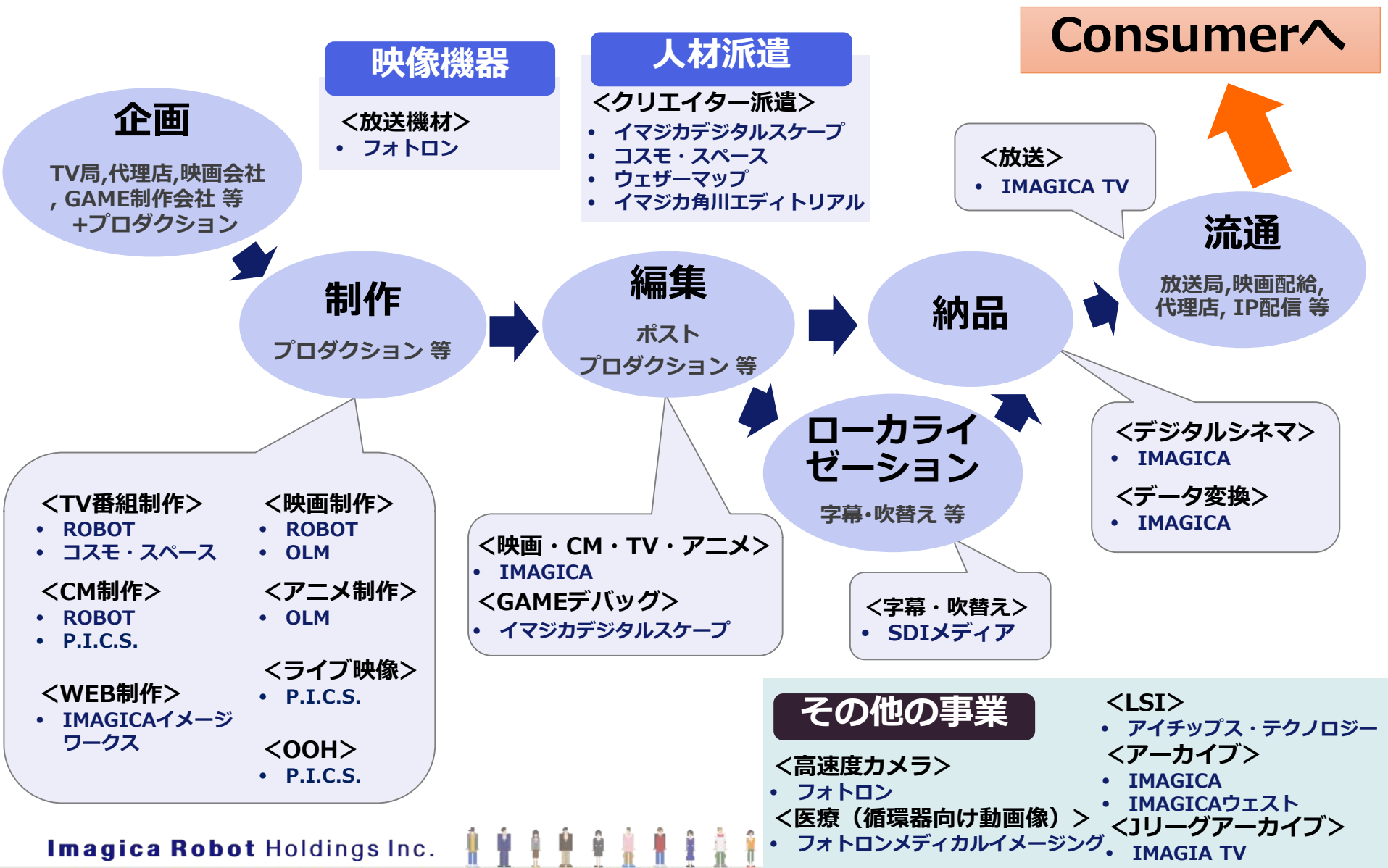


東京証券取引
所市場第二部
上場

東京証券取引所市場第一部上場



映像制作の流れと当社グループの関わり



グループ経営理念

MAGIC FACTORY

Image Magic Creative Magic Technology Magic Communication Magic

イマジカ・ロボットグループは、誠実な精神をもって、
映像コミュニケーションにおける新たな価値創造につとめ、
人々に楽しい驚きを与える“魔法の工場”をめざします。



市場環境



当社グループを取巻く市場環境

映画・ドラマ制作市場

「君の名は。」「シン・ゴジラ」等のヒットにより邦画市場は活況
Netflix 等の配信メディア向け高画質オリジナルドラマ増

CM制作市場

インターネット広告の増加

アニメ制作市場

海外へのコンテンツ配信が増加

新技術

4K・8Kへの投資需要が増加
VR・ARの普及、市場拡大



事業概要



コンテンツ・クリエイティブの広範なビジネス領域

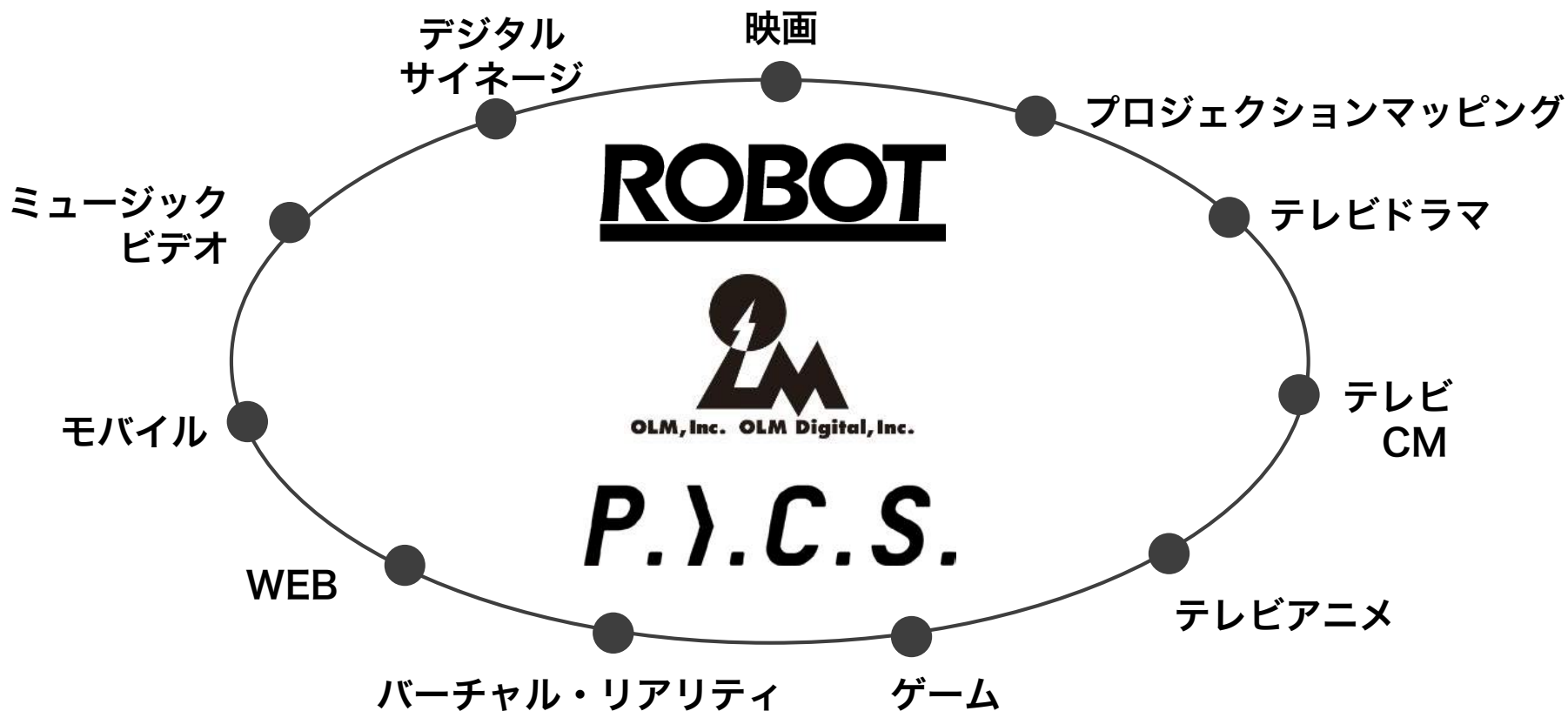
様々なジャンルの映像コンテンツを企画・制作

プロデューサーやディレクターが多数在籍、日本屈指の制作集団

エンタテインメントコンテンツ

アニメーション

広告映像



制作/出資・過去の代表作品

日本の大ヒット映画を多数手がける、クリエイティブ集団

興行収入 **34億円**

(シリーズ3作品計：112億円)

興行収入 **73億円**

(シリーズ4作品計：242億円)

興行収入 **83億円**

第38回日本アカデミー賞受賞

興行収入 **87億円**

第38回日本アカデミー賞受賞

※著作権等の都合上、画像を掲載していません。

(作品画像)

(作品画像)

(作品画像)

(作品画像)

「ALWAYS三丁目の夕日'64」
2012年1月公開

「BRAVE HEARTS 海猿」
2012年9月公開

「STAND BY ME ドラえもん」
2014年8月公開

「永遠の0」
2013年12月公開

©2012 「ALWAYS三丁目の夕日'64」製作委員会

©2012 フジテレビジョン、ROBOT、ポニーキャニオン、東宝、小学館、エー・チーム、FNS27社

©2014 「STAND BY ME ドラえもん」製作委員会

©2013 「永遠の0」製作委員会



今期の公開作品

今期3作品公開、話題の超大作から心に残る感動作、コミカルな作品まで、あらゆる作品を作り出す企画力を有する

※著作権等の都合上、画像を掲載しておりません。

(作品画像)

(作品画像)

(作品画像)

「ちはやふるー下の句ー」
2016年4月29日公開

©2016 映画「ちはやふる」製作委員会
©末次由紀 / 講談社

「海賊とよばれた男」
2016年12月10日公開

©2016 「海賊とよばれた男」製作委員会
©百田尚樹 / 講談社

「後妻業の女」
2016年8月27日公開

©2016 「後妻業の女」製作委員会



制作/出資・過去の代表作

アニメーション業界屈指のCG技術を保有、
「ポケットモンスター」シリーズ、「妖怪ウォッチ」シリーズ等のヒット作品を制作

※著作権等の都合上、画像を掲載しておりません。

(作品画像)

テレビ「ポケットモンスターXY&Z」

(作品画像)

テレビ「妖怪ウォッチ」シリーズ



今期の主な公開作品

話題のポケットモンスターシリーズ、妖怪ウォッチシリーズ含め多数劇場公開

※著作権等の都合上、画像を掲載しておりません。

(作品画像)

「ルドルフとイッパイアッテナ」
2016年8月6日公開

(作品画像)

「ポケモン・ザ・ムービーXY&Z ボルケ
ニオンと機巧(からくり)のマジアナ」
2016年7月16日公開

(作品画像)

「映画 妖怪ウォッチ 空飛ぶクジラと
ダブル世界の冒険だニャン！」
2016年12月17日公開

(作品画像)

「テラフォーマーズ」
2016年4月29日公開

(作品画像)

「CYBORG009 CALL
OF JUSTICE」
第1章：2016年11月25日
第2章：2016年12月2日
第3章：2016年12月9日
公開

©2016 「ルドルフとイッパイアッテナ」 製作委員会
©映画©Nintendo・Creatures・GAME FREAK・TV Tokyo・ShoPro・JR Kikaku
©Pokémon ©2016 ピカチュウプロジェクト ©2016 Pokémon. ©1995-2016
Nintendo/Creatures Inc. /GAME FREAK inc.

©LEVEL-5/映画「妖怪ウォッチ」プロジェクト2016
©貴家悠・橋賢一/集英社 ©2016 映画「テラフォーマーズ」製作委員会
©2016 「CYBORG009」製作委員会



多様な制作作品

- テレビドラマ

(作品画像)

連続テレビドラマ「MOZU」
©TBS/WOWOW

- オープニング映像

(作品画像)

NHK連続テレビ小説「べっぴんさん」

- 展示映像

(作品画像)

リオデジャネイロパラリンピック プロモーション映像
「限界を、更新せよ。」 choice篇 / history篇 / policy篇

Imagica Robot Holdings Inc.

- テレビCM

(作品画像)

Google

- PR映像

(作品画像)

体感型映像シアター「Road to Tokyo 2020」

- 3Dプロジェクションマッピング

(作品画像)

東京スカイツリータウン プロジェクションマッピング

- アニメ

(作品画像)

「つみきのいえ」 ©ROBOT

- ミュージックビデオ

(作品画像)

欅坂46「サイレントマジョリティー」MV

(作品画像)

東京ビッグサイト プロジェクションマッピング

※著作権等の都合上、画像を掲載しておりません。



気象コンテンツ（ウェザーマップ社）



気象予報士・森田正光を筆頭とした気象の専門家集団を昨年6月よりグループ会社化
各放送局への気象予報士派遣事業のほか、様々な気象コンテンツを提供



「Yahoo!動画天気予報」を通じた気象コンテンツ提供



(株)東洋水産様と共同開発した独自の指数情報「冷し中華前線2016」



ニュース番組の気象コーナーに出演中の森田正光



気象予報士資格取得スクールを通じた人材育成



技術サービスの幅広いサービス展開 (1/2)

狙いどおりの映像を具現化する、経験豊かな技術者による強力なチーム体制



技術サービスの幅広いサービス展開 (2/2)

映像に関する長年のノウハウを活かした事業展開

Jリーグ全試合の映像アーカイブ化



©Jリーグメディアプロモーション



イマジカ・ロボットグループは
Jリーグの映像を後世に残す事業に協力しています

- ・ 2013年より、(株)Jリーグメディアプロモーション映像アーカイブパートナーに
- ・ 1993年Jリーグ設立以降20余年間の過去映像から最新の試合映像まで、Jリーグの全映像をアーカイブ

あらゆる分野のスポーツ中継



- ・ ゴルフや、駅伝、野球、サッカー、バスケットボール等スポーツ中継において、中継車を駆使し、臨場感のある映像をお茶の間に提供
- ・ 特殊視点映像やマルチ画面映像等、様々なニーズに対応



東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組み

8K映像編集に特化したスタジオをオープン、
2020年東京オリンピック・パラリンピック開催時本格普及に向けた技術サポート



- ・今夏新設拠点渋谷公園通りスタジオ
- ・知識・経験豊かなスタッフが、8K・4K・HDRといった様々な高精細映像に対応したシステムを駆使
- ・8K/HDR超高精細エンタテインメントオリジナル映像作品「LUNA」を制作

※8Kとは・・・フルハイビジョンの16倍の画素数で、
圧倒的な臨場感のある超高精細映像を映し出す次世代
のテレビ技術



字幕・吹替えビジネス展開地域

37ヶ国、80言語以上のワールドワイドな吹替え・字幕付けサービス



ポーランド



フィンランド



スペイン



ノルウェイ



アメリカ



ハンガリー



デンマーク



フィリピン

コンテンツの海外流通

当社グループが有するコンテンツ制作能力と世界対応の技術力に加え、
ワールドワイドなサービスを組み合わせることで世界中の映像視聴者の元へ

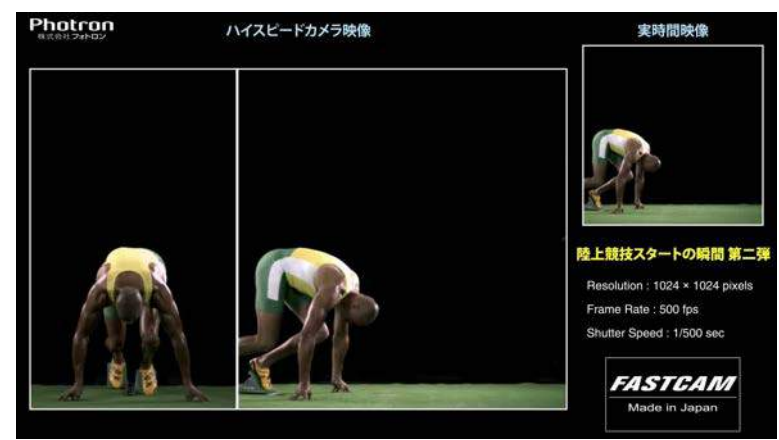


画像計測システム・光学計測システム 開発・製造

肉眼では捉えきれない高速現象を視覚化するカメラ等を開発・製造・販売、
自動車メーカーなどの産業分野や、研究分野に貢献



• 陸上競技スタートの瞬間映像



• 偏光カメラ



放送映像システム

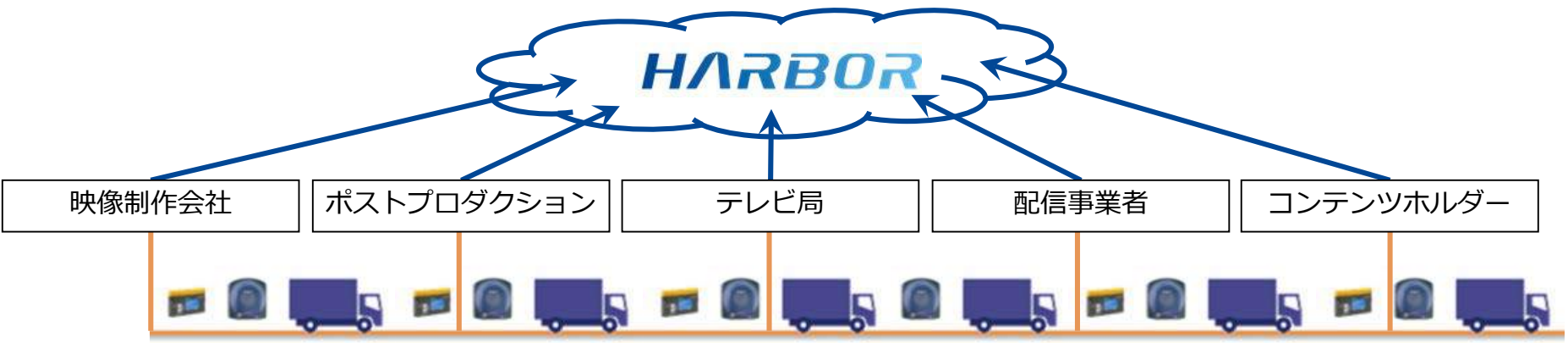
放送局や映像制作会社の映像機器に関する設計から導入までをトータルに提案、豊富なラインナップと信頼の技術力、自社内サポート部隊による保守体制



その他システムソリューション

映像制作フロー支援システム「HARBOR」

映像制作環境とコンテンツ流通環境のネットワーク化に対応する独自開発システム



医用画像システム

画像計測システムで培った技術を応用し、循環器分野を主とした医療現場の動画ネットワークシステムを開発・販売



画像処理LSI

映像機器等の中核部品となる画像処理LSI



業績推移

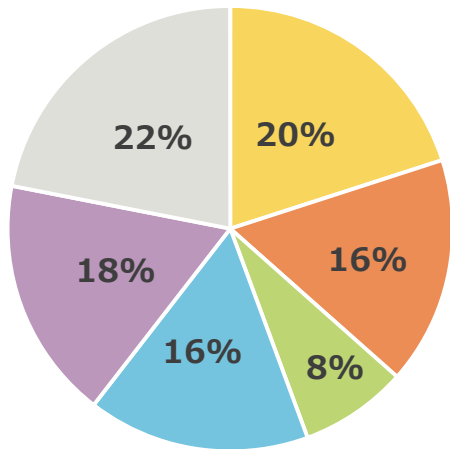


セグメント別売上高構成

OLMのグループ会社化で映像ソフト事業が最も大きい事業セグメント

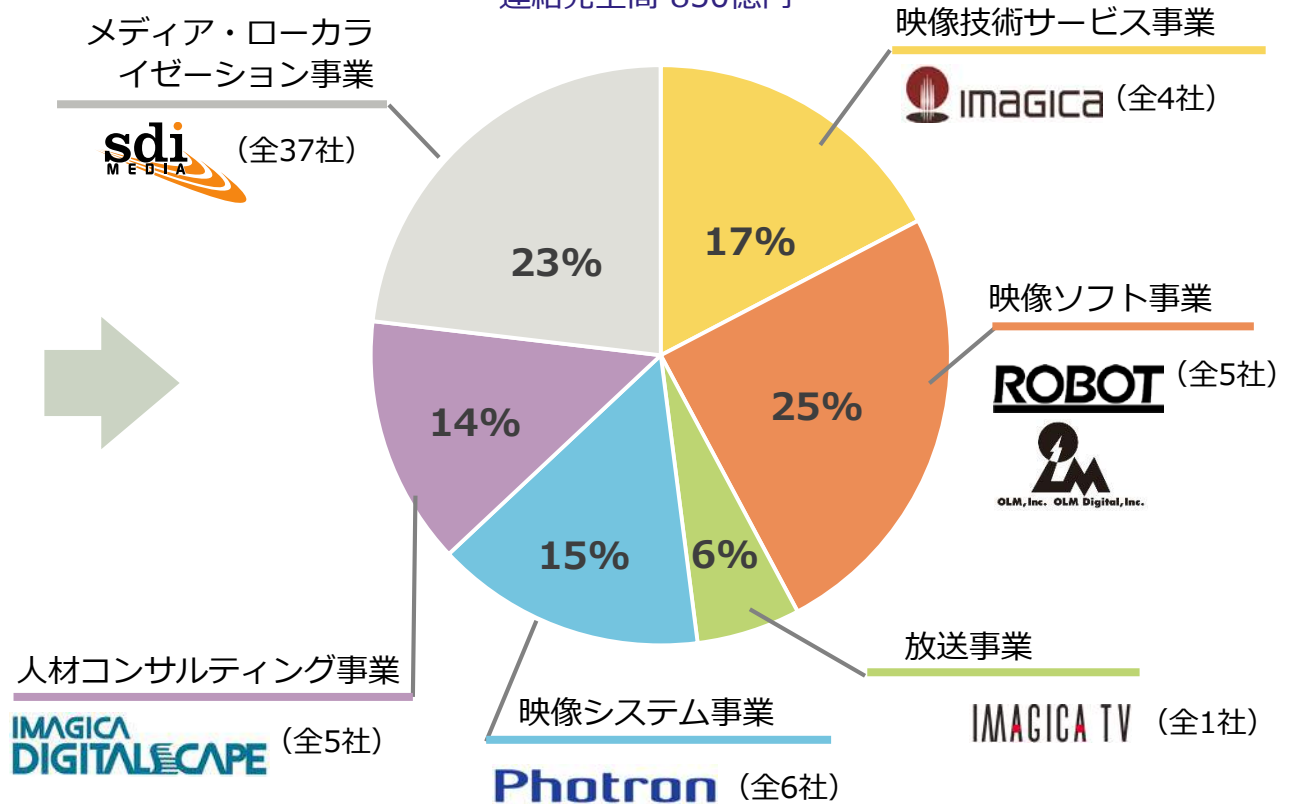
2016年3月期 実績

連結売上高 700億円



2017年3月期 見通し

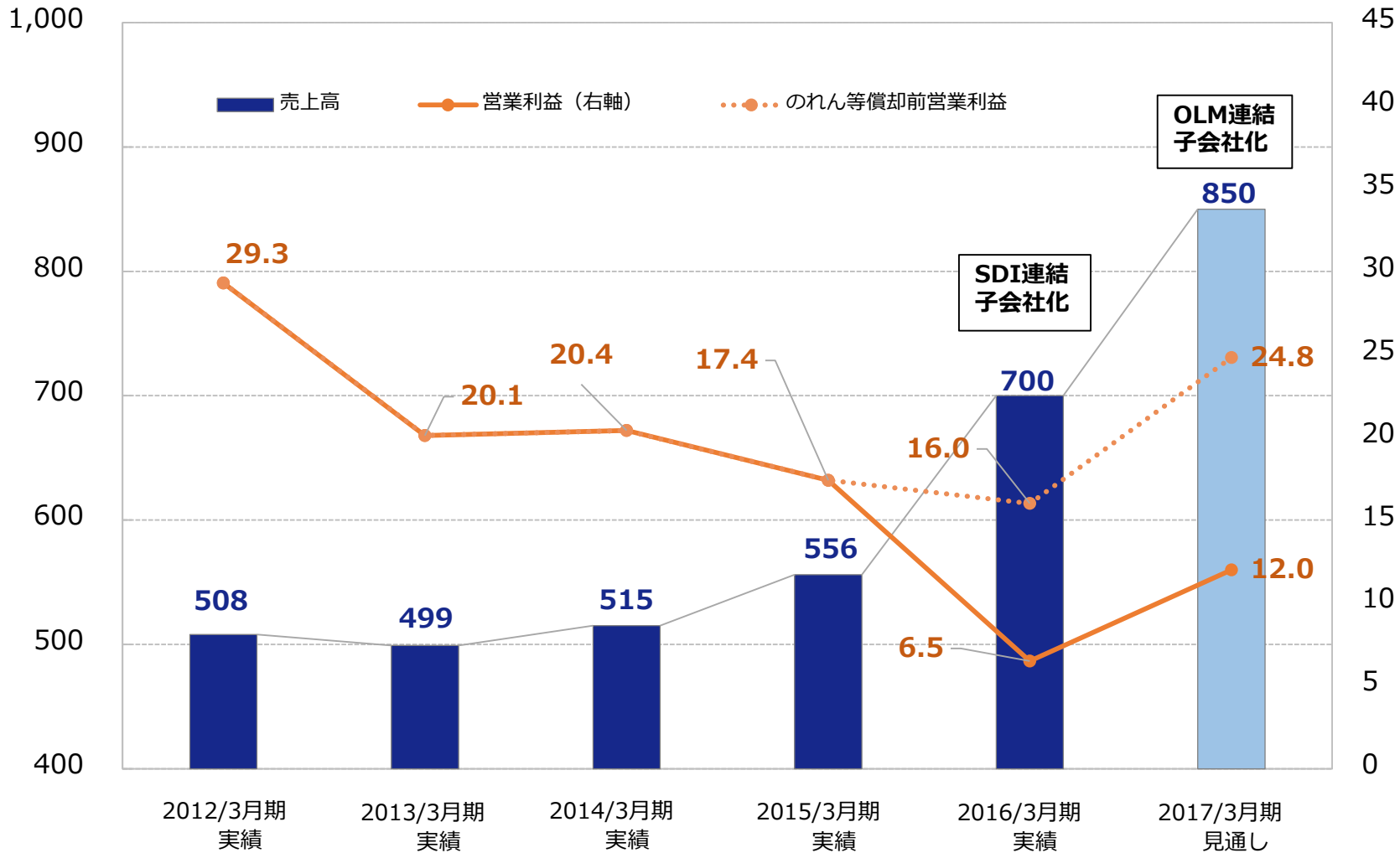
連結売上高 850億円



業績の推移

(単位：億円)

(単位：億円)



連結損益計算書

(単位：百万円)

区分 (単位：百万円)	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	
	通期実績	通期実績	通期見通し	前期比
売上高	51,526	70,036	85,000	+ 14,963 (+ 21.4%)
営業利益 (営業利益率)	2,047 (4.0%)	653 (0.9%)	1,200 (1.4%)	+ 546 (+ 83.6%)
経常利益 (経常利益率)	2,177 (4.2%)	760 (1.1%)	1,300 (1.5%)	+ 539 (+ 71.0%)
当期純利益*	1,539	△ 1,555	750	+ 2,305 (+ - %)
配当金 (円)	15	15	10	

*：当社株主に帰属する当期純利益



今後の事業展開

✓ グループ成長へ向けた投資の継続

- IPの開発等、映像制作ビジネスの高収益化
- 映像システムビジネスの市場拡大

✓ グローバルに事業展開する映像企業グループとして成長をはかる

- 日本コンテンツの海外進出促進にビジネスチャンス
- アジア圏のローカライズビジネスの新規開拓
- グループ各セグメントの事業とのシナジー追求

**映像技術力、映像制作力、サービスマインドをコアコンピタンスとする
ユニークな企業グループとして お客様に貢献**





参考資料

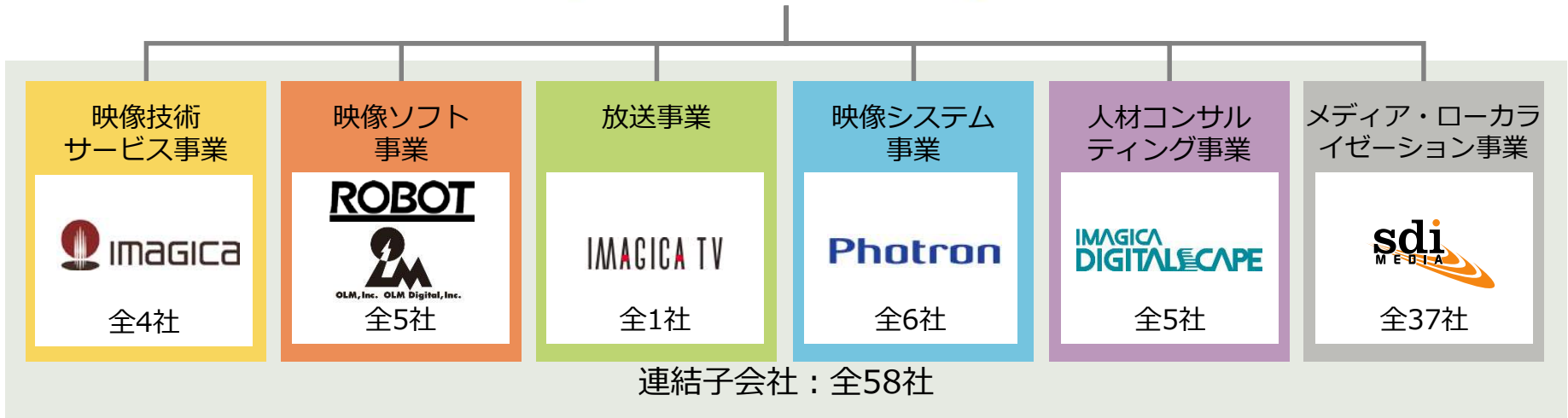
- ・ 事業セグメントと事業領域
- ・ 第2四半期連結財務諸表
- ・ 株価の推移
- ・ 2016年度上期トピックス
- ・ 用語解説
- ・ お問い合わせ先



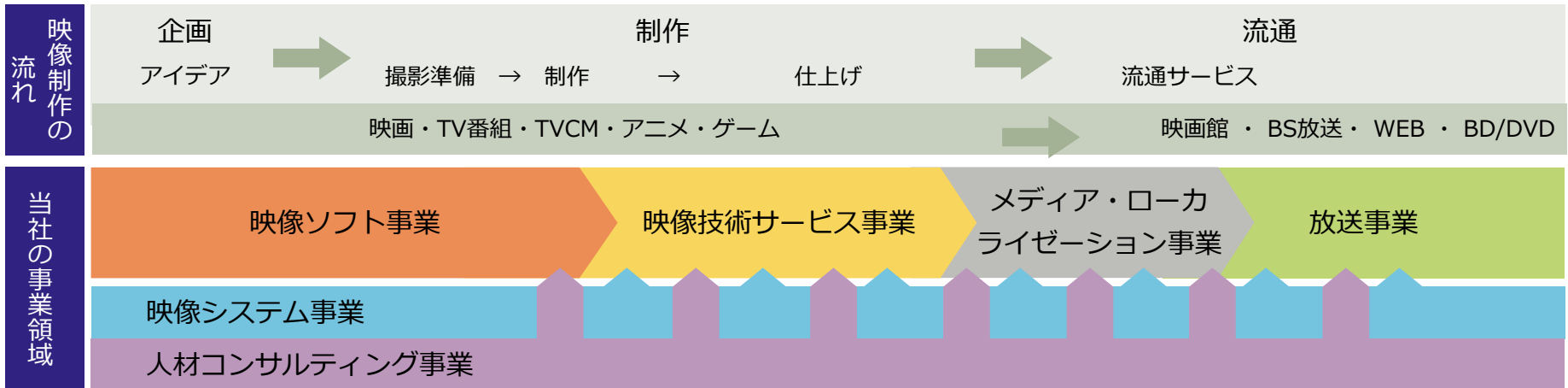
事業セグメントと事業領域

Imagica Robot Holdings Inc.

2016年9月30日時点



映像制作のプロセス全体をカバーするグループ



第2四半期連結財務諸表

● 連結損益計算書

(単位：百万円)

	2016年3月期	2017年3月期	
	2Q実績	2Q実績	前年同期比
売上高	29,767	39,615	+9,847 (+33.1%)
売上総利益	9,209	11,942	+2,733 (+29.7%)
営業利益	△210	228	+438 (-%)
(営業利益率)	(-%)	(0.6%)	
経常利益	△118	272	+391 (-%)
(経常利益率)	(-%)	(0.7%)	
税金等調整前四半期純利益	△141	223	+365 (-%)
親会社株主に帰属する四半期純利益	27	278	+251 (+906.4%)

● 連結貸借対照表

(単位：百万円)

		2016年	2017年3月期	
		3月期末	2Q期末	前期末比
資産の部	流動資産	36,519	37,257	+737
	うち現預金	12,335	10,241	△2,093
	固定資産	27,023	27,930	+907
	資産合計	63,543	65,188	+1,645
負債・純資産の部	流動負債	19,966	22,182	+2,215
	固定負債	13,740	14,990	+1,250
	負債合計	33,706	37,172	+3,466
	株主資本	24,605	24,239	△365
	その他包括利益累計額	928	243	△685
	非支配株主持分	4,303	3,553	△770
	純資産合計	29,837	28,016	△1,821
	負債純資産合計	63,543	65,188	+1,645



株価の推移

証券コード6879：(株)イマジカ・ロボット ホールディングス

※2013年4月～2016年11月



2016年度上期トピックス

OLM株式取得・グループ入り

4月	5月	6月	7月	8月	9月
<ul style="list-style-type: none"> ロボット制作映画『「ちはやふる」下の句』劇場公開 OLM制作映画「テラフォーマーズ」劇場公開 ウェザーマップが赤城乳業と夏季限定お天気サイト「ガリ天2016」をオープン P.I.C.S.が「福島プロジェクト」はるか 2016 ~白河花かがり~ プロジェクションマッピング映像制作 	<ul style="list-style-type: none"> 歌謡ポップスチャンネル 大鵬薬品スペシャル「演歌男子。3」スタート P.I.C.S.が東急プラザ銀座内「METoA Ginza」にて大型ビジョン映像を制作 オーストリアのメディアアート賞『Prix Ars Electronica 2016』のコンピュータアニメーション / FILM / VFX部門にてP.I.C.S.制作MVが優秀賞を受賞 受賞 VFX-JAPANアワード2016 イベント・ライブ映像部門にてP.I.C.S.制作映像が優秀賞を受賞 受賞 THE A-LIST AWARDS ONLINE VIDEO部門でP.I.C.S.制作映像がブロンズを受賞 受賞 第69回「広告電通賞」でロボット制作2作品が最優秀賞を受賞 受賞 第20回 JPPA AWARDS 2016にてIMAGICAが4部門7作品で入賞、うち「YKK AP 似たものどうし篇」が「経済産業大臣賞」「グランプリ」をW受賞 受賞 	<ul style="list-style-type: none"> 8K映像編集に特化した新拠点 IMAGICA渋谷公園通りスタジオを開設 OLM制作映画『ポケモン・ザ・ムービー-XY&Z「ボルケネオンと機巧（からくり）のマジアナ」』公開 ロボットが株式会社ABALに資本参加、VR事業開始 歌謡ポップスチャンネル「演歌男子。フェスティバル2016」開催 第53回ギャラクシー賞にてロボット制作2作品が優秀賞を受賞 受賞 Bjorkによるイベント「Making of Bjork Digital」にてP.I.C.S.が映像制作協力 	<ul style="list-style-type: none"> OLM制作映画「ルドルフとイッパイアッテナ」劇場公開 ロボット制作映画「後妻業の女」劇場公開 IMAGICAが開発したオンラインショーケースFOYER」がJapan Content Showcase 2016の公式オンラインライブラリーに採用決定 ファイルベースの映像制作を24時間サポート「DataGate（データゲート）赤坂」オープン 第56回「ACC CM FESTIVAL」にて、ロボット制作作品が3部門にてグランプリ、銀賞、銅賞を受賞 受賞 フォトロンが国際的な機械学習のコンペティションで世界第1位に入賞 受賞 ロボットとIMAGICAが8K/HDRで実写オリジナル作品を共同制作 イマジカBS開局20周年記念企画 ユーリー・ノルシュテイン作品2K修復版完成 世界初の4K HDR放送のオープニング番組をスカパーJSATと共同制作 		



用語解説 (1)

メディア・ローカライズ	作品の現地化のこと。映像素材を海外で配信するために、音声の翻訳・吹き替え・字幕付けや、フォーマット変換などを行うこと。また、現地の法令・慣習・文化に合うよう作品の一部を改訂したりする。
プロダクション	実際の映像制作。撮影をメインに、作品に係るCG（コンピュータ・グラフィクス）の作成や音楽、効果音づくりを行う段階のこと。
ポストプロダクション (ポストプロ)	撮影素材を作品の流れに沿って編集を行う、色調を調整する、CGとの合成や音声と合わせるなど、映像の制作工程で撮影終了時点から作品完成までの処理工程のこと。また専門にこれらを扱う部門や会社の総称。
CG合成	コンピュータ・グラフィックスの技術を用いて映像を後から加工・合成する手法。
VFX	Visual Effects（ビジュアル・エフェクツ）の略で、特撮を用いた映画やテレビドラマにおいて、現実には見ることでできない画面効果を実現するための技術のこと。視覚効果（しかくこうか）ともいう。撮影現場での効果をSFX（Special Effects, 特殊効果）と呼ぶのに対し、撮影後のポストプロダクション段階に付け加えられる効果をVFXと呼ぶ。
デジタルサイネージ	屋外・店頭・公共空間・交通機関など、あらゆる場所で、ディスプレイなどの電子的な表示機器を使って情報を発信するシステムの総称。
アーカイブ	フィルムやテープ等に保存された過去の貴重な映像・音声素材を、記録精度が高く映像再現性に優れたデジタル映像の形で保存・蓄積し、次世代に継承していくこと。
OOH	Out Of Homeの略で、自宅の外で接触するメディアの総称。電車やバスなどの車内・車体や駅構内、空港などを利用した「交通広告」と、建物の屋上、壁面を利用した看板やネオンサイン、道路沿いのビルボードなどの「屋外広告」が代表例
IP配信	Internet Protocol (IP) を利用し、映像など大量のデータを多数の相手に一斉に配信する仕組みのこと。IP配信には、有線放送に類似した「IP放送」と、VODサービスやダウンロードサービス等の「蓄積メディアによるコンテンツ配信」の2つがある。



用語解説 (2)

HDR	High Dynamic Range合成の略。カメラが捉える広いダイナミックレンジ（輝度幅）を圧縮せず記録し、そのまま映像信号に載せ、ディスプレイ（テレビ）で再生する。リアリティーのある映像を見せようとする技術のこと。
4K、8K（映像）	4Kとは横4,000×縦2,000ピクセル前後の解像度に対応した映像に対する総称を言い、現在主流のフルハイビジョンの4倍の画素数を有する。8Kはフルハイビジョンの16倍の画素数で、圧倒的な臨場感を提供することができる。
ライツビジネス	著作物を利用したビジネスのこと。
興行収入	観客が映画館に支払う入場料の合計金額のこと。以前は映画の成績に、興行収入から劇場収入等を差し引いた配給収入が使われていたが、2000年以降は海外に合せて興行収入が使われるようになった。
3Dプロジェクションマッピング	建物などの凹凸を3Dデータ化しておき、その表面に立体的な映像をプロジェクターで映写する技術のこと。
ディレクター（監督）	制作現場を統括する責任者。企画、台本、出演者などを選び、演出、音響、照明、演技指導など、作品全ての責任を持つ。想像力や芸術的なセンスの他、統率力や判断力、長時間にわたるハードワークに耐える体力と気力も必要不可欠。
プロデューサー	映画やテレビ番組を企画、立案し、作品にする総合責任者。
ハイスピードカメラ	高速現象を撮影することを目的としたカメラ。ハイスピードカメラで撮影した映像を通常の速さで再生すると、スローモーションとして見ることができる。高速度ビデオカメラともいう。
デバッグ	ゲームなどのプログラムの中の「バグ」と呼ばれる欠陥や誤りを探して修正すること。プログラム開発において、重要な意味を持つ作業。
VR（仮想現実）	Virtual Realityの略で、仮想世界に現実の人間の動きを反映させて、現実ではないが現実のように感じさせる技術のこと。
AR（拡張現実）	Augmented Realityの略で、現実の環境から知覚に与えられる情報に、コンピュータが作り出した情報を重ね合わせ、補足的な情報を与える技術のこと。



お問い合わせ先

株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス

経営管理本部 企画部

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-3-2 内幸町東急ビル11階

T E L : 03-6741-5742 F A X : 03-6741-5752

Email : ir@imagicarobot.jp

URL : <https://www.imagicarobot.jp/>

【将来予測について】

本資料に記載されている当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。

